

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成 28 年 5 月 19 日 (2016.5.19)

【公開番号】特開 2014-203943 (P2014-203943A)
 【公開日】平成 26 年 10 月 27 日 (2014.10.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-059
 【出願番号】特願 2013-78296 (P2013-78296)
 【国際特許分類】

H 0 1 G 4/015 (2006.01)

H 0 1 G 4/18 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 G 4/24 3 0 1 C

H 0 1 G 4/24 3 0 1 B

H 0 1 G 4/24 3 2 1 C

【手続補正書】
 【提出日】平成 28 年 3 月 23 日 (2016.3.23)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

対向する二極の金属蒸着電極と、これら金属蒸着電極の間に介在する誘電体フィルムとで形成されたコンデンサ素子と、
 このコンデンサ素子の両端面に設けられた一対のメタリコン電極と、
 これらメタリコン電極に接続され、前記コンデンサ素子を外部と電氣的に接続する引出端子とを備え、
 前記メタリコン電極と前記引出端子の間にアルミニウム箔が介在した金属化フィルムコンデンサ。

【請求項 2】

前記メタリコン電極は垂鉛からなり、
 前記引出端子は銅からなる請求項 1 に記載の金属化フィルムコンデンサ。

【請求項 3】

前記引出端子は板状のバスバー、あるいは接合部分が平板状であるリード線である請求項 1 に記載の金属化フィルムコンデンサ。

【請求項 4】

前記アルミニウム箔の厚みは 30 μ m 以上 75 μ m 以下である請求項 1 に記載の金属化フィルムコンデンサ。

【請求項 5】

前記誘電体フィルムとして、ポリプロピレンフィルムを用いた請求項 1 に記載の金属化フィルムコンデンサ。

【請求項 6】

車両に搭載され、モータ駆動用インバータ回路の平滑用、スナバ用、フィルタ用として用いられる請求項 1 に記載の金属化フィルムコンデンサ。